



多くの皆
さんが集
う市役所を
目指します

市長 宮澤宗弘

新本庁舎が開庁し、業務を開始しました。これまで9カ所で行っていた市の業務が一つに集約されました。開庁により市民の皆さまの利便性が高まることはもとより、人、物、時間などの無駄を排し、より効率的で迅速な行財政運営に努めていきます。

また、市の防災拠点でもある新本庁舎の開庁に合わせて、デジタル同報系防災行政無線も運用を開始しました。安全・安心なまちづくりに向け必要な情報伝達手段として効果が期待できます。

本年は、市制施行10周年の記念すべき年でもあります。市民の皆さまのさらなる一体感の醸成、まちづくりの拠点として、多くの皆さんが、日ごろから集い、親しんでいただくため、休日には1階と4階の一部フロアを市民開放しています。5月23日、24日には開庁記念イベントを開催します。ぜひ、お出掛けください。



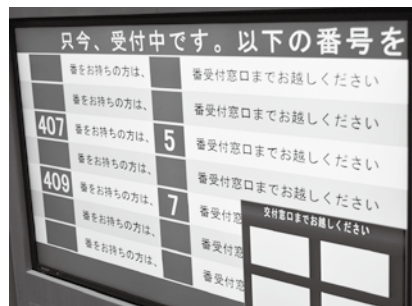
開庁を記念し、1階東側ロビーに展示されている穂高人形



1階総合案内



1階にある市内7つの障害者施設で運営する「あったカフェ」



受付番号ごとに手続き窓口を番号表示



市役所新本庁舎が5月7日、開庁しました。午前8時30分の業務開始に先立ち、庁舎東側正面玄関前で開庁式典を行ない、宮澤市長、宮下市議会議長らがテープカットをしました。

平成17年10月の合併以来、旧町村役場の庁舎など9カ所に分散していた本庁機能が集約され、一つの庁舎で業務が始まりました。宮澤市長は新本庁舎で勤務する職員約600人に向けて「業務を行う職員が魂を入れなければならない」と訓示しました。

新本庁舎の開庁により、今後、市では、使用しなくなった庁舎の解体、支所等整備計画に基づき、未整備の支所について改築工事などを進めていきます。

質実剛健で、市民に喜ばれ、次世代に受け継がれる庁舎

注目情報

1

市役所新本庁舎が開庁



行政情報コーナー



職員への訓示



1階市民課窓口



開庁式典

デジタル同報系防災行政無線が開局 災害情報を市民の皆さんに迅速に伝達

市が整備を進めてきたデジタル同報系防災行政無線が5月7日に開局しました。この無線は、市内236カ所に設置した屋外拡声子局（スピーカー）と、地区公民館や避難施設などに置く戸別受信機から災害時またはその恐れがあるときや、人命に関わること、防犯、有害鳥獣などに関する情報を放送します。放送内容は、市メール配信サービスまたはテレホンサービスで確認できます。

市防災行政無線
テレホンサービス
0120-271313 (フリーダイヤル)



市メール
配信サービス



開局式で開局宣言を放送する宮澤市長